

天皇盃 皇后盃
第53回全日本空手道選手権大会（個人戦）
大会実施要項



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

1. 名 称 天皇盃 皇后盃 第53回全日本空手道選手権大会（個人戦）
2. 主 催 公益財団法人全日本空手道連盟
3. 後 援 スポーツ庁、（公財）日本スポーツ協会、（公財）日本オリンピック委員会、
（公財）日本武道館、（公財）日本武道協議会、千代田区、足立区、NHK
4. 日時・場所 令和7年12月14日（日） 9時00分～17時00分（予定）
会場：日本武道館（東京都千代田区北の丸公園2－3）
8時00分～ 開場
9時00分～ 競技開始
13時30分～ 式典
16時50分～ 表彰式
5. 競技種目 (1) 男子・女子形競技個人戦
各地区協議会並びに各競技団体より選出された代表選手及び全空連推薦選手による形競技個人戦
(2) 男子・女子組手競技個人戦
各都道府県並びに競技団体により選出された代表選手及び全空連推薦選手による組手競技個人戦
6. 競技規定 (公財) 全日本空手道連盟 空手競技規定で行う。
(1) 形競技個人戦
ア. 得点制によるトーナメント方式で行う。
イ. 敗者復活戦および3位決定戦を行う。
ウ. 毎回戦で異なる形を演武しなければならない。（敗者復活戦も同様）
引き分けによる再演武の形は以前の回戦で使用した形は使えない。但し、再演武で使用した形は以降の本戦で使用できる。
エ. 演武する形は、すべて全空連指定形リスト及び競技形リストにより選定すること。1回戦は第1・2指定形、2回戦以降は得意形とする。
オ. 同点の場合は以下の手順により勝敗を決定する。
1) 採用された最低点の高い方の選手
2) 採用された最高点の高い方の選手
3) それでも同点の場合は新たな形の演武を行う。（再演武）
(2) 組手競技個人戦
ア. トーナメント方式で行う。

- イ. 敗者復活戦および3位決定戦は行わない。
- ウ. 準決勝戦、決勝戦はビデオレビュー（VR）システムを採用する。
- エ. プロテストを採用する。プロテストの金額は20,000円とする。なお、従来通り軽微な不服申し立てについては、その場でコート主任に監督が申し出て訂正を促すこととする。

(3) 組手安全具について

- ア. 拳サポーター（WKF 又は全空連承認の赤色・青色のもの）
※令和5年1月16日付け「組手競技における拳サポーターの使用基準について（通知）」を参照のこと
 - イ. マウスピース
 - ウ. ボディプロテクター（WKF 又は全空連承認のもの）
 - エ. インステップガード・シンガード（WKF 又は全空連承認の赤色・青色のもの）
 - オ. セーフティーカップ（男子選手のみ）
 - カ. チェストガード（女子選手のみ）
- ※安全具は選手各自において用意すること。
※安全具に不備のある選手は出場することができない。

(4) 選手の服装について（別紙参照）

- ア. 空手着は（公財）全日本空手道連盟競技規定に定めたものとする。
- イ. 空手着の紐は必ず結ぶこと。
- ウ. 赤・青帯は全空連で検定されたものを各自で用意すること。
- エ. ゼッケン、胸マークは必ず縫い付けること。

(5) 監督の服装について

- ア. ダークスーツまたはジャケット・ブレザーを着用すること。
 - イ. ワイシャツは白色とする。
 - ウ. 全空連指定ネクタイ（紺色）を着用すること。
 - エ. シューズは床を傷つけないものとし、派手な色合いは禁止とする。（サンダル不可）
 - オ. アリーナ内ではウエストポーチやリュック類は身に着けないこと。
 - カ. 監督用IDカードを携帯すること。（首から下げる）
- ※全空連エンブレムの着用は不可とする。
※女性はスラックス又はスカートでもよく、ネクタイを着用しなくてもよい。

(6) 大会審判団は、（公財）全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

7. 出場枠

(1) 個人形競技

- ア. 各地区協議会より男子及び女子代表選手各1名
- イ. 実業団、学生連盟、高体連よりそれぞれ男子及び女子代表選手各1名
- ウ. (3) に該当する全空連推薦選手

(2) 個人組手競技

- ア. 各都道府県より男子及び女子代表選手各1名
 - イ. 実業団、学生連盟、高体連よりそれぞれ男子及び女子代表選手各1名
 - ウ. (3) に該当する全空連推薦選手
- 但し、下記の通り追加選出できる。

エ. 男子及び女子代表選手それぞれ東京都 1 名、大阪府 1 名、学生連盟 1 名

(3) 推薦選手

ア. 前年度優勝者

イ. 形：10月1日現在の WKF ランキング国内上位 3 位以内の選手

ウ. 組手：10月1日現在の WKF ランキング各階級国内上位 1 位の選手

※WKF ランキングは『WKF CURRENT Ranking』とする。

※ランキングの繰り上げはしない。

(4) 監督

ア. 形競技、組手競技各 1 名とし、両競技の兼任も可とする。(但し、組手競技の東京都、大阪府、学生連盟は 2 名まで)

イ. 全空連推薦選手の監督を別に設けることができる。

※監督は、登録した該当選手にしかつくことができない。

8. 出場資格

下記の項目をすべて満たしていること。

(1) 選手及び監督は、(公財)全日本空手道連盟の会員であり、「JKF 会員マイページ」に登録していること。

※高校生は下記 18 「ドーピング検査について」を確認すること。

(2) 選手及び監督は、全空連の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当すること。

ア. 日本国籍を有する者

イ. 日本国籍を有しない者は、日本永住許可の記入がある外国人登録済み証明書、または 3 年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者

(3) 選手及び監督は、次に掲げる加盟団体からそれぞれ選出された者とする。

ア. 都道府県連盟 (①～④のいずれかによって所属していること)

①居住地 ②勤務地 ③学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地

④卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地

イ. 競技団体

①実業団 ②学生連盟 ③高体連

ウ. 地区協議会 (形競技のみ)

(4) 選手は、令和 7 年度以内に満 16 歳の誕生日を迎え、全空連公認段位取得者であること。(少年段位は不可)

(5) 選手は、健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(6) 監督は、全空連公認地区審判員以上の審判員資格と、(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ 3 以上の資格の両方の有資格者であること。

※選手及び監督の所属を証明する書類 (住民票又は在学・在勤証明書) 並びに選手の健康状態を証明する書類 (健康診断書等) については、当該団体会長又は議長が確認し、内容に相違ないことを証することとする。(全空連への提出不要)

9. 申し込み手続き

【大会申し込み担当者】

(1) 個人戦・団体戦の選手と監督を併せて WEB (JKF 会員システムより) 申し込みを行うこと。

申込期間：令和7年10月14日(火)～31日(金)23時59分まで
※選手及び監督による JKF 会員マイページでの承諾期間も同様とする。

(2) 留意事項

- ア. 出場資格、申込内容に不備があるとき、又は申込期限に遅れた場合は出場を認めない。
- イ. 出場申し込み後の選手の変更は、提出期限内であっても一切認めない。
- ウ. 出場申し込み後、やむを得ず選手が試合に出られない事態が生じた場合は、棄権届に必要な事項を記入し、早急に届け出ること。

【出場選手】

選手は指定のフォームから顔写真を提出すること。<https://forms.gle/NwBoFy9y4iWgvKJ19>
顔写真は以下の要件を満たすものとする。

- ア. 空手着を着用して撮影すること。(Tシャツの色は白)
- イ. 白の無地の背景で正面から撮影すること。
- ウ. カラー写真であること。
- エ. 写真の70%～80%が顔で占めること。(自然な表情で口は閉じること)
- オ. 髪は目にかからないようにすること。
- カ. デジタル加工は一切加えないこと。

提出期限：令和7年11月6日(木)まで

10. 大会出場費 (1) 大会出場費 1名につき 10,000円
(2) 大会出場費納入について
コンビニ決済又はクレジットカード決済とし、10月31日(金)までに納入ください。
※各明細書を領収書の代わりとする。
※納入後の出場料は、出場辞退があった場合でも返金しない。

11. 大会分担金 (1) 各都道府県(関東地区は除く) 20,000円
(2) 関東地区 ア. 東京都 600,000円
イ. 神奈川、埼玉、千葉、群馬、茨城、栃木、山梨県 200,000円
(3) 競技団体 ア. 学生連盟 300,000円
イ. 実業団、高体連 200,000円

【大会分担金納入口座】

銀行名 みずほ銀行 支店名 虎ノ門支店(046)
口座 普通2955286
名義 公益財団法人全日本空手道連盟

12. 旅費等の負担について
(1) 交通費・宿泊費とも自己負担とする。宿泊先については各自手配すること。
(2) 選手・監督の昼食は支給しない。

13. 組み合わせ抽選について

- (1) 抽選日：令和7年11月11日(火)
- (2) 抽選場所：日本空手道会館 会議室
- (3) 全空連公式YouTubeチャンネル「JKF チャンネル」にてLIVE 配信予定

14. 安全管理

- (1) 主催者において、参加選手全員に傷害保険を付保する。
- (2) 出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
- (3) 選手は、必ず健康保険証を携行すること。

15. 表彰

- (1) 男子及び女子形競技個人戦
優勝（文部科学大臣杯・文部科学大臣旗）、準優勝、第3位（2名）、
第5位（4名）
 - (2) 男子及び女子組手競技個人戦
優勝（天皇盃・皇后盃）、準優勝、第3位（2名）、第5位（4名）
- ※入賞選手は必ず表彰式に参加すること。

16. 監督会議

オンライン会議 令和7年11月20日（木）19時00分～

17. 配信について

全空連公式YouTubeチャンネル及びNHK EテレにてLIVE 配信・放送予定
公式YouTube：1回戦から準決勝戦まで配信、決勝戦は後日配信
NHK Eテレ放送：決勝戦のみ放送

18. 肖像権について

本大会は大会の様相をインターネットによるライブ配信を予定しており、観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟および関係機関が認めたライブ配信業者・報道機関等によって、撮影された映像や写真が中継・録画放映及びインターネットにより配信または二次利用されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信等に際して、個人情報（氏名、所属など）、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記（1）（2）の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。
- (4) 訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、当連盟の定める書面の提出又は当連盟ホームページからのお問い合わせフォーム（<https://www.jkf.ne.jp/contactus>）により対応に応じる。

19. ドーピング検査について

本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本大会参加者は、本大会に出場申し込みをした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

また、未成年者である本大会出場者の申し込みにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。

【18歳未満競技者親権者 同意書】を記載して当日持参すること。※全空連に事前の提出は不要

本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わなかった場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規程違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

日本ドーピング防止規程の詳細内容及びドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

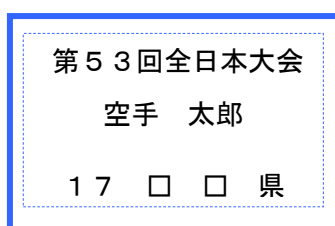
20. その他
- (1) ゼッケン・IDカードは大会本部で作成し、11月中旬に所属団体へ発送する。
 - (2) 当日欠席する選手が出た場合は、監督が選手受付場所に、棄権届を招集時間までに提出すること。

21. お問い合わせ (公財) 全日本空手道連盟 企画業務課 砂川 雄飛 (y-sunakawa@jkf.jp)

●選手の服装について (別紙)

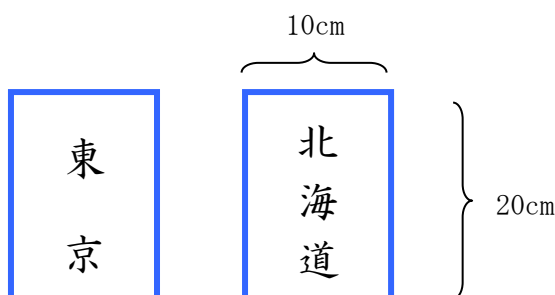
(1) ゼッケンについて

- ・ゼッケンを正しく縫い付けていない選手は出場することができない。
マジックテープ等での仮止めは不可とし、確実に縫い付けて参加すること。また、競技中に取れた場合は次の試合までに必ず再度縫い付けなければ出場できない。



(2) 胸マークについて

- ・選手の胸マークは、各都道府県名（競技団体より選出された選手は競技団体名）を表記した下記規格のものを左胸に固く縫着する。
- ・所属の会社、学校等の名称・マーク、会派名、道場名等を表記することは認めない。
 - ①サイズは、縦20cm×横10cm以内とする。
 - ②文字は、楷書体・黒色・縦書きとする。



(3) 両腕部マークについて

【右腕】

- ・選手は協賛企業・団体の名称あるいはロゴマークを縫着できる。
サイズは縦3cm×横10cmとし、競技規定に定められた範囲内に最大4件まで表示可能とする。
- ・本大会において、風俗営業関連、暴力団関係企業、団体等を協賛として露出することは認めない。
- ・協賛企業・団体の名称あるいはロゴマークを縫着する場合、事前に全空連から承認を受けること。

承認期間：令和7年12月5日(金)まで 【<https://forms.gle/nLfgf1nj8iKNBqGh9>】

※承認期間を過ぎたものについては縫着を認めない。

【左腕】

- ・左腕部マークについては、都道府県名、所属の会社・学校名等のいかなる表記も認めない。
- ・全空連が指定する大会スポンサーのロゴマークを縫着する場合がある。

(4) 製造業者商標ラベルについて

- ・製造業者がはじめから付けた織ラベル・商標だけは上着の裾表側、ズボンの表側(左右どちらか)、右胸、襟裏のみ可とし、それ以外のワッペン・刺繍等は一切認めない。
- ※各流派のオリジナルラベルは認める。

